



クラブ活動の役割や意義

すっかり秋色に染まってきた青葉山。高浜から眺める山容は美しく整っているため、「若狭富士」とも呼ばれています。しかし、別の場所や角度から眺める姿はバリエーションに富んでいます。

先日、後期クラブ活動の希望調査を4年～6年の子どもたちに実施しました。その結果、第1希望のクラブに所属することができなかった子どもたちが出てきました。希望するクラブに入れないと、なんだかがっかりしてしまったり、やる気が出なくなったりすることがあるかもしれません。でも、そんな時、見方、考え方を考えてみるとどうでしょうか。「希望するクラブに入らなかったから、かえってこんなことに挑戦できる。だからよかった。」と考えるということです。希望のクラブに入ることができなくてもよい面はたくさんあります。自分のやったことのないことができるようになる、覚えられる。また、新たな友だちとの出会いもあるかもしれません。

青葉山も「若狭富士」と呼ばれる眺めだけが、秀麗な景観ではありません。それぞれの場所や角度からの山容や景観にも、それぞれに良さや趣があります。是非、子どもたちにも新たなクラブで、新たな活動や友だちと出会い、楽しく充実



ボードゲームクラブ

した時間を過ごしてほしいと思います。

さて、その後期のクラブ活動ですが、11月11日からスタートしました。このクラブ活動には、「集団での望ましい活動を通して、友だちとかかわりながら豊かな人間性を育てる」という役割があります。特に、異学年（4年・5年・6年）での活動であること、また、同じ興味・関心を深く追求できる活動であること、そして、子どもたちの自発的、自治的な活動であることは、その意義と言えます。

さらに、地域の施設や人材の活用を図り、学校と地域が連携することで、子どもたちが、友だちだけではなく、地域の人たちの「よさ」にふれ、改めて自分の「よさ」を発見し、主体的に学び合うことができます。今回は、そのような望ましい活動にしていくために、「高浜まちづくりネットワーク」や「高浜まちなか交流館」などのご協力を得て、地域から5名の方に講師として参加していただくことができました。担当していただくクラブ活動は、フォトグラフ（写真）、イラスト、パソコン（プロジェクトンマッピング）、ボードゲーム、伝統文化（生け花）です。これから3月まで、10回程程度の活動を通して創り上げた作品は、展示会などでも発表していく予定です。



イラストクラブ

「引き出す・楽しむ」授業

「自分の考えを、相手に分かりやすく書いたり、発言したりして伝えることができる」。「友だちの意見を最後まで聞いて、自分の考えと似ているところや違うところが分かる」。高浜小学校では、このような力を、授業をはじめ様々な教育活動を通して、子どもたちに身につけさせ、伸ばしていきたいと考えています。

その中でも授業は、1日の学校生活において、時間的にも占める割合がかなり大きく、授業づくりはとても大切です。そこで、授業を通して子どもたちの学ぶ姿をよく観察し、その発言や友だちとのかかわり方、考え方の変化などを記録することで、授業づくりに生かしています。

3年社会



11月8日からの1週間は、各教員が他の教員の授業をそれぞれ参観しました。そこでは、子どもたちの学ぶ姿から、「子どもたちの個性を引き出す」と共に、興味・関心を持って、「子どもたちが楽しむ」ための授業づくりのヒントを見つけ出し、学び合い（研修）も行いました。

今後は、子どもたちが、「友だちの意

4年社会



見を受け止めた上で、自分の考えを見つめ直すことができる」。そんな力も伸ばしていきたいと思えます。

マラソン大会を終えて

秋の爽やかな風が吹き、青空がいっぱいに広がる中で、11月2日、「校内マラソン大会」を実施しました。

大会当日は、保護者の皆さんをはじめ、地域の方からも子どもたちに対して、温かいご声援をいただきました。誠にありがとうございました。

友だちや家族、地域の方からの応援を受けて、子どもたちはゴールを目指し、力を出し切ることができました。



マラソン（長距離走）は、器械運動やなわとび等と同様に「克服型」のスポーツと言われています。目標に向かって、一人で努力を続けることや繰り返し練習することは、かなりの困難を伴います。

しかし、今回の大会は、色別対抗の形式での団体戦を取り入れました。そのことで、大会に向けての練習では、色別（縦割班）に友だちと一緒に走り、友だちからの応援を受けることが、子どもたちにとっての勇気となり、苦しくなったときもあきらめずに時間いっぱい走ることができました。この経験は、マラソンでの「走る」ということだけではなく、他の学習をしていく上でも、大きな自信になったことと思います。これからも、縦割班で活動することの「よさ」を生かし、「なわとび」の練習や学校行事に取り組んでいきたいと思えます。